

(工学部・工学研究科)

公益財団法人日本国際教育支援協会
平成 28 年度 JEES 国際理解推進奨学金(少数受入国)の募集

2016.4.22

1 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- 1)平成 28 年 4 月現在、工学部、工学研究科に正規生として在籍する私費外国人留学生(在留資格「留学」)である者。
- 2)以下の国・地域出身の者。
ブータン、モルディブ、東ティモール、カタール、クウェート、バーレーン、レバノン、イエメン、オマーン、パレスチナ、イラク、トーゴ、中央アフリカ、スワジランド、コモロ、ジブチ、ナミビア、ブルキナファソ、ソマリア、コンゴ共和国、リベリア、モーリシャス、アンゴラ、ガボン、モーリタニア、マリ、ギニア、シエラレオネ、リビア、コートジボワール、エリトリア、ベナン、モザンビーク、ルワンダ、南アフリカ、ザンビア、マラウイ、ブルンジ、ガーボヴェルデ、レソト、ミクロネシア、マーシャル、キリバス、パラオ、ツバル、サモア、ソロモン諸島、ニューカレドニア、アンティグア・バーブーダ、バルバドス、ベリーズ、ガイアナ、ウルグアイ、ハイチ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、ジャマイカ、ドミニカ共和国、エルサルバドル、キューバ、バハマ、グレナダ、エクアドル、パラグアイ、コソボ共和国、キプロス、ルクセンブルク、アルメニア、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、モルドバ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、アルバニア、グルジア、スロベニア、トルクメニスタン、アンドラ公園
- 3)他から受けている奨学金等受給月額合計が 60,000 円以下である者。
- 4)ボランティア活動や国際交流活動等の実績、またはこれらの活動への意欲のある者。

2 支給額 月額 50,000 円

3 支給期間 2016 年 4 月から最短修業年限まで(但し、最長2年)

4 提出書類

- 1)願書(所定用紙、写真貼付) ※日本語で記載すること。
- 2)推薦書(所定用紙)
- 3)成績証明書(現課程と前課程。ただし学部生は現課程のみ)
- 4)経済状況調書 5)私費外国人留学生身上書(指定用紙)
- 6)家計状況申告書(指定用紙) 7)指導教官による成績評価(指定用紙)

5 書類の提出先

工学部・工学研究科教務課国際交流係

6 締切日 平成 28 年 5 月 6 日(金)

平成28年度JEES国際理解推進奨学金(少数受入国) 願書

年 月 日

公益財団法人 日本国際教育支援協会 理事長 殿

申請者署名
(自筆)

私は、平成28年度JEES国際理解推進奨学金(少数受入国)奨学金受給者として採用願いたく、下記記載事項に相違ありませんので、ここに申請いたします。なお、受給者として採用された場合は、他の奨学金の受給を目的として辞退することはいたしません。

記

● 氏名

	氏	名	写真 最近6ヶ月以内に撮影したもの。 タテ4.0cm×ヨコ3.0cm、 上半身、脱帽、裏面に氏名を記入すること。
フリガナ			
ローマ字			
漢字 (ある場合のみ)			

● 大学名等(支給開始時点)

大学・大学院	

学部・研究科	学科・専攻
_____	_____
学部生 ・ 修士(博士前期)課程 ・ 博士(博士後期)課程 _____ 年次在籍 <small>※いずれかを選択のうえ、学年を記入 (_____ 年 _____ 月 卒業(修了)予定)</small>	

● 国籍・地域

● 生年月日

_____	年	_____	月	_____	日
(支給開始時点で満 _____ 歳)					

● 性別

男 ・ 女

● 現住所等(※印は記入必須)

〒 _____	

※ _____	
TEL: _____	※ 携帯電話: _____
※ E-mail (PC): _____	
E-mail (携帯電話): _____	

● 留学計画等(スペースが足りない場合、別紙(A4版)を添付してもよい)

(1) 学習・研究計画

学習・研究計画タイトル (無い場合は、概要) :

(2) ボランティア活動や国際交流活動等の実績、これら活動への意欲等について

--

(3) 学業修了後、どのような進路を希望するか。また、将来どのような職業・仕事に就きたいと思うか。

--

以上

【記入上の注意】

- ・申請者本人が日本語で記入すること。タイプ入力する場合は、印刷時に文字が切れないよう注意すること。
- ・氏名はローマ字の活字体を使用し、必ずパスポートと同一の記載とすること。

平成28年度JEES国際理解推進奨学金(少数受入国) 推薦書

年 月 日

公益財団法人 日本国際教育支援協会 理事長 殿

大学名 _____

学長名 _____ 公印

下記の者は、本学において審査の結果、平成28年度JEES国際理解推進奨学金(少数受入国)の受給者として適格であると認めたので、「平成28年度JEES国際理解推進奨学金(少数受入国)募集・推薦要項」に基づき、関係書類を添えて推薦します。

なお、受給者として採用された際は、本学による送金手数料等の負担を含め、奨学金支給事務に協力します。

記

● 推薦する学生の情報 (支給開始時点)

	氏	名	国籍・地域	
(フリガナ)				
ローマ字				
漢字 (ある場合のみ)				
学籍状況	_____ 学部・研究科 _____ 学科・専攻			
	学部生 ・ 修士(博士前期)課程 ・ 博士(博士後期)課程 _____ 年次在籍			
	※いずれかを選択のうえ、学年を記入			
	_____ 年 _____ 月卒業(修了)予定			

● 推薦理由 (スペースが足りない場合、別紙(A4版)を添付してもよい。)

推薦者所属先 (学部・研究科 /学科・専攻)		職名		氏名	印

● 大学担当者連絡先

住所	〒 _____		
部署		電話	
氏名		E-mail	



日国教 IT 第 386 号
平成 28 年 3 月 1 日

各 大 学 長 殿

公益財団法人 日本国際教育支援協会
理 事 長 井 上 正 幸
(公印省略)

平成 28 年度 JEES 国際理解推進奨学金(少数受入国)に係る
適格者の推薦について(依頼)

本協会では民間企業や個人の方々より寄せられた寄付金等を基金とし、その果実等を奨学金の運用に供しており、このたび、JEES 国際理解推進奨学金(少数受入国)の奨学生を募集いたします。

ついては、同封の「平成 28 年度 JEES 国際理解推進奨学金(少数受入国)募集・推薦要項」に基づき、平成 28 年 5 月 18 日(水)までに、応募者をお取りまとめのうえ、ご推薦いただきますようお願いいたします。

※複数人ご推薦いただく場合、推薦順位を付していただきますようお願いいたします。

(推薦人数に上限はございません。)

※要項・願書・推薦書は本協会ホームページよりダウンロードいただくことも可能です。

http://www.jees.or.jp/foundation/priority_countries-scholarship.htm

〈同封書類〉

募集・推薦要項、願書、推薦書

【本件に係る照会先】

公益財団法人 日本国際教育支援協会
事業部 国際交流課

〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29

TEL:03-5454-5274 E-mail:ix@jees.or.jp

平成 28 年度 JEES 国際理解推進奨学金(少数受入国) 募集・推薦要項

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という。)では、奨学金事業の充実のため、民間企業や個人の方々のご寄付等を基金とし、その果実等を「JEES 奨学金」の運用に供している。これにより、「平成 28 年度 JEES 国際理解推進奨学金(少数受入国)」の奨学生を下記により募集する。

記

1. 目的

本奨学金は、我が国が受け入れている留学生のうち、少数受入国出身者で、学業・人物ともに優秀な私費外国人留学生に対して奨学金を支給することにより、経済的不安の緩和・学習効果の向上に寄与することを目的とする。

2. 応募資格

次の各号のすべてに該当する者。

- (1) 私費外国人留学生のうち、平成 28 年 4 月時点において、正規生として、或いは、大学間(学部間も含む)学生交流協定に基づき、日本の大学(大学院を含む。以下「大学」という。)に在籍する者。また、在留資格は「留学」であること。
- (2) 採用された場合の受給期間が 1 学年相当以上ある者。
- (3) 別紙に記載する国の出身者。
- (4) 奨学金の受給期間中、他から受ける奨学金等受給月額合計が 60,000 円以下である者。ただし、授業料免除は除く。
- (5) ボランティア活動や国際交流活動等の実績、またはこれらの活動への意欲のある者。
- (6) 本奨学金受給終了後も、本協会に対して近況等を連絡する意思のある者。
- (7) 在籍大学の長の推薦を受けることができる者。

3. 採用人数

10 名程度

4. 支給内容

月額奨学金 50,000 円

5. 支給期間

平成 28 年 4 月より最長 2 年間。ただし、推薦を受ける大学での在籍期間中に限る。

6. 応募・推薦方法

大学の長は、2 に挙げる応募資格に該当する者について、7 に挙げる応募・推薦書類を理事長に提出するものとする。なお、推薦人数等については、別途依頼文で示す。

7. 応募・推薦書類

- (1) 願書(別紙様式 1。日本語で記載されたものに限る。) 1通
- (2) 応募者の写真(最近 6 ヶ月以内に撮影したもの。4.0cm×3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、願書の所定欄に貼付すること。) 1 葉
- (3) 推薦書(別紙様式 2。推薦理由は、指導教官等が記入すること。) 1通

8. 応募・推薦書類の提出期限

平成 28 年 5 月 18 日(水)本協会必着。なお、締切期日を過ぎた場合や提出書類に不備のある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

9. 選考方法及び結果の通知

理事長は、6 により推薦された者について本協会に設置する選考委員会に諮り、受給者を決定する。結果は、平成 28 年 6 月中を目途に大学を通じて通知する。

10. 支給方法

本奨学金は、別に定める方法により、大学を通じて支給する。

11. 受給者の義務

- (1) 受給者は、本奨学金支給期間中の学習・研究状況について、学業成績証明書と共に、毎年度末及び奨学金受給終了後、所定の様式により、大学を通じて理事長に提出しなければならない。
- (2) 受給者は、住所・連絡先及び所属先(大学、就職先等)に変更があった場合、本奨学金受給期間中は大学を通じて、受給終了後は直接本協会へ遅滞なく届け出なければならない。
- (3) 受給者は、本協会の要請に応じ、アンケート等へ回答しなければならない。

12. 奨学金給付の休止又は終了

- (1) 受給者が長期欠席した場合は、本奨学金を支給しない。
- (2) 受給者が、次の①から④のいずれかに該当した場合には、本奨学金の支給を打ち切る。
 - ① 大学を休学又は留年した場合。
 - ② 本奨学金受給者の義務を怠った場合。
 - ③ この要項の定める事項に該当しなくなった場合。
 - ④ その他受給者として相応しくないと判断された場合。
- (3) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合は、受給決定を取り消す。

13. その他(注意事項等)

- (1) 受給者は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、12.に挙げる事項に該当する場合、すでに支給している奨学金の返還を求める場合がある。
- (2) 本奨学金受給生として採用された場合、他の奨学金の受給を目的として辞退することはできない。

14. 個人情報の取り扱い

応募・推薦書類上の個人情報は、本協会の実施する学生支援事業にのみ利用し、その他の目的には利用しない。

15. 応募・推薦書類の提出先・問い合わせ先

公益財団法人 日本国際教育支援協会 事業部 国際交流課
〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29
TEL: 03-5454-5274 FAX: 03-5454-5242 E-mail: ix@jees.or.jp

以上

平成 28 年度 JEES 国際理解推進奨学金 (少数受入国)

対象国一覧

【アジア】

ブータン、モルディブ、東ティモール

【中東】

カタール、クウェート、バーレーン、レバノン、イエメン、オマーン、パレスチナ、イラク

【アフリカ】

トーゴ、中央アフリカ、スワジランド、コモロ、ジブチ、ナミビア、ブルキナファソ、ソマリア、コンゴ共和国、リベリア、モーリシャス、アンゴラ、ガボン、モーリタニア、マリ、ギニア、シエラレオネ、リビア、コートジボワール、エリトリア、ベナン、モザンビーク、ルワンダ、南アフリカ、ザンビア、マラウイ、ブルンジ、ガーボヴェルデ、レソト

【大洋州】

ミクロネシア、マーシャル、キリバス、パラオ、ツバル、サモア、ソロモン諸島、ニューカレドニア

【中南米】

アンティグア・バーブーダ、バルバドス、ベリーズ、ガイアナ、ウルグアイ、ハイチ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、ジャマイカ、ドミニカ共和国、エルサルバドル、キューバ、バハマ、グレナダ、エクアドル、パラグアイ

【欧州 (NIS 諸国を含む)】

コソボ共和国、キプロス、ルクセンブルク、アルメニア、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、モルドバ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、アルバニア、グルジア、スロベニア、トルクメニスタン、アンドラ公国

以上 77 ヶ国

* 2016年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

2016.4月現在

1. 身分・名前等

身分	学部 年、学部研究生、 MC 年、DC 年、大学院研究生		学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員名	研究室 TEL	
氏名	(漢字)			既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学		年 月 卒業・修了		
東北大学で の移動 (新しい順 番に)		年 月 ~ 現在		
		年 月 ~ 年 月		
		年 月 ~ 年 月		
住居 (○で囲む)	<input type="checkbox"/> 東北大学国際交流会館 <input type="checkbox"/> 三条ユニバーシティハウス <input type="checkbox"/> 仙台第一国際交流会館 <input type="checkbox"/> 仙台第二国際交流会館 <input type="checkbox"/> 県・市営アパート(住所) <input type="checkbox"/> 民間アパート(住所)			

2. 家庭状況 (現在同居する者だけを記入してください。)

配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する)

氏名	続柄	年齢	勤務先または学校名

* 2016年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在籍	学部 年	学籍番号	
	MC 年、DC 年、大学院研究生		
氏名			

家計状況

* 2015年4月から2016年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2016年4月入学の方は、2015年10月から2016年3月の家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 収入と支出の合計が同じになるように記入してください。

収 入		支 出	
自国の家族等からの送金	円	食 費	円
奨学金(本人)	円	家 賃	円
奨学金(同居家族)	円	光熱水料費	円
アルバイト(本人)	円	交通・通信費	円
アルバイト(同居家族)	円	その他	
貯金から	円 ()		円
その他	()		円
()	円 ()		円
()	円 ()		円
合 計	円	合 計	円

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか？ 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間		月額・年額(○で囲む)		奨学金の名称
年 月 ~	年 月	月額・年額	円	
年 月 ~	年 月	月額・年額	円	
年 月 ~	年 月	月額・年額	円	
年 月 ~	年 月	月額・年額	円	

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

平成28年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成27年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成26年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった

指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)

この評価は、指導されている私費外国人留学生が各種奨学金へ応募する際に記入していただくものです。**(2016年4月以降に、他の奨学金で既に提出済みの場合は不要です。)**

- 1) 研究室内の他の学生を基準にして、相対的に評価をお願いします。
- 2) 評価はA・B・Cのいずれか、または、評価不能(指導して日が浅い場合など)を該当欄に○印をお願いします。

留学生氏名: _____
所 属: _____ 学科・系 _____ 年次・研究生
_____ 専攻・前期 _____ 年次・研究生
_____ 後期 _____ 年次・研究生

評価	成績評価内容
	A(非常に優秀)
	B(優秀)
	C(良好)
	評価不能

* 評価不能の場合、その理由を記入ください

理由:

平成 年 月 日

記入者(指導教官、クラス担任等)

所属 _____
官職 _____
氏名 _____ 印